



MXCW

Command Strings

MXCWAPT command strings for control systems, such as Crestron or Extron.
Version: 6 (2019-E)

Table of Contents

		規則	3
MXCWCommand Strings	3	インデックス	3
MXCWAPT Microflex®ワイヤレスコマンド全文字列	3	Command Strings	4

MXCW Command Strings

MXCWAPT Microflex[®] ワイヤレスコマンド 全文字列

デバイスはイーサネットを経由してAMX、Crestron、Extronなどのコントロールシステムに接続されます。

接続：イーサネット（TCP/IP。AMX/Crestronプログラムで「Client」を選択）

ポート：2202

規則

文字列には4つのタイプがあります：

GET	パラメーターのステータスを取得します。AMX/CrestronがGETコマンドを送信した後、デバイスがREPORT文字列で応答します
SET	パラメーターのステータスを取得します。AMX/CrestronがSETコマンドを送信した後、デバイスがREPORT文字列で応答し、パラメーターの新しい値を示します。
REP	デバイスは、GETコマンドまたはSETコマンドを受信すると、REPORTコマンドで応答し、パラメーターのステータスを示します。MXCWAPT上、GUI経由、および会議ユニット上でパラメーターが変更された場合も、デバイスによってREPORTが送信されます。
SAMPLE	オーディオレベルのメーター表示に使用します。

すべてのメッセージはASCIIで送受信されます。レベルインジケータとゲインインジケータにもASCIIが使用されることに注意してください。

ほとんどのパラメーターは、変更されるとREPORTコマンドを送信します。したがって、絶えずパラメーターを問い合わせる必要はありません。これらのパラメーターのいずれかが変更されると、デバイスはREPORTコマンドを送信します。

インデックス

インデックスは、コマンド文字列が動作している内容を明確に識別するために使用されます。

0	すべてのチャンネル/すべてのシート 番号
1~1	Aux入力
1~1	Aux出力
1~10	Dante入力
1~10	Dante出力
1~4000	シート番号
1~50	投票構成

1~5

投票ボタン

Command Strings

MIC_STATUS

ノート	マイクロホンの状態を取得および制御します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>シート番号</p> <p>注:</p> <p>4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。</p> <p>GETコマンドにのみ、0の値を使用することができます。</p> <p>インデックスが0のGETコマンドは、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。</p>
値	<p>OFF</p> <p>ON</p>
例	<p>デバイスが使用可能な場合:</p> <pre>< GET 2 MIC_STATUS > < REP 2 MIC_STATUS OFF ></pre> <p>< SET 5 MIC_STATUS ON > < REP 5 MIC_STATUS ON ></p> <p>マイクがTPCI以外の別のソースを介して有効になっている場合:</p> <pre>< REP 1 MIC_STATUS ON ></pre> <p>デバイスが登録されているが、使用できない場合:</p> <pre>< GET 2 MIC_STATUS > < REP 2 MIC_STATUS UNKNOWN ></pre> <pre>< SET 5 MIC_STATUS ON > < REP 5 MIC_STATUS UNKNOWN ></pre>

SPEAK_REQUEST

ノート	発言者リクエスト数を制御します
-----	-----------------

サポートされるコマンド	SET
インデックス	シート番号 注： 4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。 0の値の使用は受け付けられません。
値	TRUE
例	操作モードが自動で、発言者リストが最大に達していない場合： < SET 2 SPEAK_REQUEST TRUE > < REP 2 SPEAK_LIST_STATUS IN_LIST > 操作モードが手動で、リクエストリストが最大に達していない場合： < SET 2 SPEAK_REQUEST TRUE > < REP 2 REQUEST_LIST_STATUS IN_LIST > デバイスが登録されているが、使用できない場合： < SET 2 SPEAK_REQUEST TRUE > < REP 2 SPEAK_REQUEST UNKNOWN >

SPEAK_RELEASE

ノート	リスト内の発言者を解除します
サポートされるコマンド	SET
インデックス	シート番号 注： 4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。 0の値の使用は受け付けられません。
値	TRUE
例	発言者リストにある場合： < SET 2 SPEAK_RELEASE TRUE > < REP 2 SPEAK_LIST_STATUS NOT_IN_LIST > リクエストリストにある場合：

	<pre>< SET 2 SPEAK_RELEASE TRUE > < REP 2 REQUEST_LIST_STATUS NOT_IN_LIST ></pre> <p>デバイスが登録されているが、使用できない場合：</p> <pre>< SET 2 SPEAK_RELEASE TRUE > < REP 2 SPEAK_RELEASE UNKNOWN ></pre> <p>指定されたシート番号が発言者リストまたはリクエストリストにない場合（応答なし）：</p> <pre>< SET 2 SPEAK_RELEASE TRUE ></pre>
--	--

ALL_DELEGATE_MIC_OFF

ノート	すべての出席者マイクロホンをオフにします
サポートされるコマンド	SET
インデックス	なし
値	TRUE
例	<pre>< SET ALL_DELEGATE_MIC_OFF TRUE > < REP 1 MIC_STATUS OFF > < REP 2 MIC_STATUS OFF ></pre>

EXCLUSIVE_MUTE

ノート	専用ミュートを割り当てます
サポートされるコマンド	SETおよびREP
インデックス	<p>シート番号</p> <p>注：</p> <p>4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。</p> <p>0の値の使用は受け付けられません。</p> <p>専用ミュートを要求するシート番号は、議長に割り当てられたシート番号に対応している必要があります。</p>
値	OFF ON
例	議長が既に発言者リストに入っていない場合は、以下を使用して専用ミュートを取得します。

	<pre>< SET 1 EXCLUSIVE_MUTE ON > < REP 1 EXCLUSIVE_MUTE ON > < REP GLOBAL_MUTE ON > < REP 1 SPEAK_LIST_STATUS IN_LIST ></pre> <p>他の議長がグローバルミュートを保持していない場合は、専用ミュートを解除します。</p> <pre>< SET 1 EXCLUSIVE_MUTE OFF > < REP 1 EXCLUSIVE_MUTE OFF > < REP GLOBAL_MUTE OFF > < REP 1 SPEAK_LIST_STATUS NOT_IN_LIST ></pre> <p>専用ミュートを取得していません（応答がありません。シートは議長でないか、または別の議長がすでに専用ミュートを保持しています）。</p> <pre>< SET 1 EXCLUSIVE_MUTE ON ></pre> <p>デバイスが登録されているが、使用できない場合：</p> <pre>< SET 1 EXCLUSIVE_MUTE ON > < REP 1 EXCLUSIVE_MUTE UNKNOWN ></pre>
--	--

GLOBAL_MUTE

ノート	グローバルミュートを制御します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	なし <i>注</i> ：REPは、グローバルミュートの状態がいずれかのコントローラー（TPCIを含む）によって行われたかどうかを反映しています。グローバルミュートを同時に保持するコントローラーが複数存在する場合があります。
値	OFF ON
例	<pre>< GET GLOBAL_MUTE > < REP GLOBAL_MUTE OFF ></pre> <p>グローバルミュートの取得：</p> <pre>< SET GLOBAL_MUTE ON > < REP GLOBAL_MUTE ON ></pre> <p>グローバルミュートの解除：</p> <pre>< SET GLOBAL_MUTE OFF > < REP GLOBAL_MUTE OFF ></pre>

REQUEST_LIST_STATUS

ノート	リクエストリストのシートの状態を検索します
-----	-----------------------

サポートされるコマンド	GETおよびREP
インデックス	シート番号 注： 4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。 インデックスが0のGETコマンドは、登録されているデバイスのすべてのシート番号を取得します。
値	NOT_IN_LIST IN_LIST
例	< GET 1 REQUEST_LIST_STATUS > < REP 1 REQUEST_LIST_STATUS NOT_IN_LIST >

SPEAK_LIST_STATUS

ノート	発言者リストのシートの状態を検索します
サポートされるコマンド	GETおよびREP
インデックス	シート番号 注： 4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。 インデックスが0のGETコマンドは、登録されているデバイスのすべてのシート番号を取得します。
値	NOT_IN_LIST IN_LIST
例	< GET 1 SPEAK_LIST_STATUS > < REP 1 SPEAK_LIST_STATUS NOT_IN_LIST >

CLEAR_REQUEST_LIST

ノート	リクエストリストからシートをクリアします
サポートされるコマンド	SET

インデックス	なし
値	TRUE
例	<pre>< SET CLEAR_REQUEST_LIST TRUE > < REP 1 REQUEST_LIST_STATUS NOT_IN_LIST > < REP 2 REQUEST_LIST_STATUS NOT_IN_LIST ></pre>

NEXT_MIC_ON

Description	Turn next microphone in request list on
Supported Commands	SET
Indexing	None
Values	TRUE
Examples	<pre>< SET NEXT_MIC_ON TRUE > < REP 4 MIC_STATUS ON ></pre>

MAX_TOTAL_SPEAKERS

ノート	許可される発言者の最大数を設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	なし
値	<p>形式：数値</p> <p>固定出力の1文字</p>
例	<pre>< GET MAX_TOTAL_SPEAKERS > < REP MAX_TOTAL_SPEAKERS 2 > < SET MAX_TOTAL_SPEAKERS 2 > < REP MAX_TOTAL_SPEAKERS 2 ></pre>

MAX_DELEGATE_SPEAKERS

ノート	参加者の発言者の最大数を設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	なし

値	形式：数値 固定出力の1文字
例	< GET MAX_DELEGATE_SPEAKERS > < REP MAX_DELEGATE_SPEAKERS 3 > < SET MAX_DELEGATE_SPEAKERS 3 > < REP MAX_DELEGATE_SPEAKERS 3 >

MAX_NUM_REQUESTS

ノート	リクエストリストで許可される出席者の最大数を設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	なし
値	形式：数値 固定出力の1文字
例	< GET MAX_NUM_REQUESTS > < REP MAX_NUM_REQUESTS 5 > < SET MAX_NUM_REQUESTS 5 > < REP MAX_NUM_REQUESTS 5 >

OPERATION_MODE

ノート	操作モードを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	なし
値	AUTO MANUAL FIFO
例	< GET OPERATION_MODE > < REP OPERATION_MODE MANUAL > < SET OPERATION_MODE AUTO > < REP OPERATION_MODE AUTO >

INTERRUPT_MODE

ノート	割り込みモードを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	なし
値	NOT_ALLOWED HIGHER_PRIORITY EQUAL_AND_HIGHER_PRIORITY
例	< GET INTERRUPT_MODE > < REP INTERRUPT_MODE HIGHER_PRIORITY > < SET INTERRUPT_MODE NOT_ALLOWED > < REP INTERRUPT_MODE NOT_ALLOWED >

MIC_PRIORITY

ノート	マイクロホンの優先度を取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	シート番号 注： 4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。 インデックスが0のGETおよびSETコマンドは、登録されているデバイスのすべてのシート番号を取得および設定します。
値	形式：数値 固定出力の1文字
例	< GET 1 MIC_PRIORITY > < REP 1 MIC_PRIORITY 2 > < SET 1 MIC_PRIORITY 3 > < REP 1 MIC_PRIORITY 3 >

LOUDSPEAKER_VOLUME

ノート	会議ユニットのラウドスピーカーの音量を設定します
-----	--------------------------

サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	なし
値	形式：数値 固定出力の3文字 値REPおよびSETは30で相殺されます。 $Actual_Value = SetOrReportedValue - 30$ 実際の範囲：-30～6 dB（1 dBごと） TPCI範囲：000～036（1ごと）
例	< GET LOUDSPEAKER_VOLUME > < REP LOUDSPEAKER_VOLUME 004 > < SET LOUDSPEAKER_VOLUME 12 > < REP LOUDSPEAKER_VOLUME 012 >

AUX_INPUT_PAD

ノート	Aux入力のパッドを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	Aux入力 <i>注：インデックス値が0または1のGETおよびSETコマンドを使用すると、Aux入力が取得および設定されます。</i>
値	OFF ON
例	< GET 1 AUX_INPUT_PAD > < REP 1 AUX_INPUT_PAD OFF > < SET 1 AUX_INPUT_PAD ON > < REP 1 AUX_INPUT_PAD ON >

AUX_INPUT_GAIN

ノート	Aux入力のゲインを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	Aux入力

	<i>注：インデックス値が0または1のGETおよびSETコマンドを使用すると、Aux入力取得および設定されます。</i>
値	<p>形式：数値</p> <p>固定出力の3文字</p> <p>値REPおよびSETは30で相殺されます。</p> <p>Actual_Value = SetOrReportedValue - 30</p> <p>実際の範囲：-30～10 dB（1 dBごと）</p> <p>TPCI範囲：000～040（1ごと）</p>
例	<p>< GET 1 AUX_INPUT_GAIN ></p> <p>< REP 1 AUX_INPUT_GAIN 4 ></p> <p>< SET 1 AUX_INPUT_GAIN 12 ></p> <p>< REP 1 AUX_INPUT_GAIN 12 ></p>

AUX_OUTPUT_GAIN

ノート	Aux出力のゲインを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>Aux出力</p> <p><i>注：インデックス値が0または1のGETおよびSETコマンドを使用すると、Aux出力取得および設定されます。</i></p>
値	<p>形式：数値</p> <p>固定出力の3文字</p> <p>値REPおよびSETは30で相殺されます。</p> <p>Actual_Value = SetOrReportedValue - 30</p> <p>実際の範囲：-30～0 dB（1 dBごと）</p> <p>TPCI範囲：000～030（1ごと）</p>
例	<p>< GET 1 AUX_OUTPUT_GAIN ></p> <p>< REP 1 AUX_OUTPUT_GAIN 4 ></p> <p>< SET 1 AUX_OUTPUT_GAIN 12 ></p> <p>< REP 1 AUX_OUTPUT_GAIN 12 ></p>

MIC_GAIN

ノート	会議ユニットのマイクロホンのゲインを制御します
-----	-------------------------

サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>シート番号</p> <p>注：</p> <p>4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。</p> <p>インデックスが0のGETおよびSETコマンドを使用すると、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得および設定します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。</p> <p>AGCが有効になっている場合、このコマンドは既存の値をレポートします。</p>
値	<p>形式：数値</p> <p>固定出力の3文字</p> <p>値REPおよびSETは30で相殺されます。</p> <p>$Actual_Value = SetOrReportedValue - 30$</p> <p>実際の範囲：-30～10 dB（1 dBごと）</p> <p>TPCI範囲：000～040（1ごと）</p>
例	<p>デバイスが使用可能な場合：</p> <p>< GET 1 MIC_GAIN > < REP 1 MIC_GAIN 4 ></p> <p>< SET 1 MIC_GAIN 12 > < REP 1 MIC_GAIN 12 ></p> <p>デバイスが登録されているが、使用できない場合：</p> <p>< GET 1 MIC_GAIN > < REP 1 MIC_GAIN UNKNOWN ></p> <p>< SET 1 MIC_GAIN 12 > < REP 1 MIC_GAIN UNKNOWN ></p>

DANTE_INPUT_GAIN

ノート	Dante入力のゲインを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>Dante入力</p> <p>注：インデックス値が0のGETおよびSETコマンドを使用すると、Dante入力が取得および設定されます。</p>

値	<p>形式：数値</p> <p>固定出力の3文字</p> <p>値REPおよびSETは30で相殺されます。</p> <p>Actual_Value = SetOrReportedValue - 30</p> <p>実際の範囲：-30～10 dB（1 dBごと）</p> <p>TPCI範囲：000～040（1ごと）</p>
例	<pre>< GET 1 DANTE_INPUT_GAIN > < REP 1 DANTE_INPUT_GAIN 4 > < SET 1 DANTE_INPUT_GAIN 12 > < REP 1 DANTE_INPUT_GAIN 12 ></pre>

DANTE_OUTPUT_GAIN

ノート	Dante出力のゲインを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>Dante出力</p> <p><i>注：インデックス値が0のGETおよびSETコマンドを使用すると、Dante出力が取得および設定されます。</i></p>
値	<p>形式：数値</p> <p>固定出力の3文字</p> <p>値REPおよびSETは30で相殺されます。</p> <p>Actual_Value = SetOrReportedValue - 30</p> <p>実際の範囲：-30～10 dB（1 dBごと）</p> <p>TPCI範囲：000～040（1ごと）</p>
例	<pre>< GET 1 DANTE_OUTPUT_GAIN > < REP 1 DANTE_OUTPUT_GAIN 4 > < SET 1 DANTE_OUTPUT_GAIN 12 > < REP 1 DANTE_OUTPUT_GAIN 12 ></pre>

AUX_INPUT_AGC

ノート	Aux入力 of AGC を取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP

インデックス	Aux入力 <i>注</i> ：インデックス値が0または1のGETおよびSETコマンドを使用すると、Aux入力が取得および設定されます。
値	OFF ON
例	< GET 1 AUX_INPUT_AGC > < REP 1 AUX_INPUT_AGC ON > < SET 1 AUX_INPUT_AGC OFF > < REP 1 AUX_INPUT_AGC OFF >

DANTE_INPUT_AGC

ノート	Dante入力のAGCを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	Dante入力 <i>注</i> ：インデックス値が0のGETおよびSETコマンドを使用すると、Dante入力が取得および設定されます。
値	オフ オン
例	< GET 1 DANTE_INPUT_AGC > < REP 1 DANTE_INPUT_AGC ON > < SET 1 DANTE_INPUT_AGC OFF > < REP 1 DANTE_INPUT_AGC OFF >

DANTE_INPUT_MUTE

ノート	Dante入力のミュートを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	Dante入力 <i>注</i> ：インデックス値が0のGETおよびSETコマンドを使用すると、Dante入力が取得および設定されます。
値	OFF ON

例	<pre>< GET 1 DANTE_INPUT_MUTE > < REP 1 DANTE_INPUT_MUTE ON > < SET 1 DANTE_INPUT_MUTE OFF > < REP 1 DANTE_INPUT_MUTE OFF ></pre>
---	--

DANTE_OUTPUT_MUTE

ノート	Dante出力のミュートを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>Dante出力</p> <p>注：インデックス値が0のGETおよびSETコマンドを使用すると、Dante出力が取得および設定されます。</p>
値	<p>オフ</p> <p>オン</p>
例	<pre>< GET 1 DANTE_OUTPUT_MUTE > < REP 1 DANTE_OUTPUT_MUTE ON > < SET 1 DANTE_OUTPUT_MUTE OFF > < REP 1 DANTE_OUTPUT_MUTE OFF ></pre>

MIC_AGC

ノート	マイクロホンのAGCを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>シート番号</p> <p>注：</p> <p>4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。</p> <p>インデックスが0のGETおよびSETコマンドは、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得および設定します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。</p>
値	<p>OFF</p> <p>ON</p>
例	デバイスが使用可能な場合：

	<pre>< GET 1 MIC_AGC > < REP 1 MIC_AGC ON > < SET 1 MIC_AGC OFF > < REP 1 MIC_AGC OFF > デバイスが登録されているが、使用できない場合： < GET 1 MIC_AGC > < REP 1 MIC_AGC UNKNOWNN > < SET 1 MIC_AGC OFF > < REP 1 MIC_AGC UNKNOWN ></pre>
--	--

FLASH

ノート	デバイスを識別するフラッシュをオンにします
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>インデックスのないフラッシュはAPT、インデックス付き（シート番号）フラッシュはマイクロホンを示します</p> <p>注：</p> <p>4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。</p> <p>インデックスが0のGETおよびSETコマンドは、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得および設定します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。</p>
値	<p>OFF</p> <p>ON</p>
例	<p>APTをフラッシュさせる：</p> <pre>< GET FLASH > < REP FLASH ON > < SET FLASH ON > < REP FLASH ON ></pre> <p>デバイスが使用可能な場合に、会議ユニットをフラッシュさせる：</p> <pre>< GET 1 FLASH > < REP 1 FLASH OFF > < SET 1 FLASH ON > < REP 1 FLASH ON ></pre>

	<p>デバイスが登録されているが、使用できない場合に会議ユニットをフラッシュさせる：</p> <pre>< GET 1 FLASH > < REP 1 FLASH UNKNOWN ></pre> <p>< SET 1 FLASH ON > < REP 1 FLASH UNKNOWN ></p>
--	---

ROLE

ノート	デバイスのロールを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>シート番号</p> <p>注：</p> <p>4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。</p> <p>インデックスが0のGETおよびSETコマンドは、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得および設定します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。</p>
値	<p>DELEGATE</p> <p>CHAIRMAN</p> <p>LISTENER</p> <p>AMBIENT</p>
例	<p>デバイスが使用可能な場合：</p> <pre>< GET 1 ROLE > < REP 1 ROLE DELEGATE ></pre> <p>< SET 1 ROLE CHAIRMAN > < REP 1 ROLE CHAIRMAN ></p> <p>デバイスが登録されているが、使用できない場合：</p> <pre>< GET 1 ROLE > < REP 1 ROLE UNKNOWN ></pre> <p>< SET 1 ROLE CHAIRMAN > < REP 1 ROLE UNKNOWN ></p>

SEAT_NAME

説明	シート名を取得します
----	------------

サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	シート番号 注： 4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。 インデックスが0のGETおよびSETコマンドは、登録されているデバイスのすべてのシート番号を取得および設定します。
値	TPCIプロトコルに見られる文字（{、}、<、>）を除き、UTF-8データが許可されています。 GETの最大データサイズ：512バイト SETの最大データサイズ：128バイト 注： パディングは128バイトまで行われます。パディングは、ASCII文字セットを扱う場合にのみ一貫性が保証されません。
例	NFCカードが挿入されていない場合： < GET 1 SEAT_NAME > < REP 1 SEAT_NAME {JOHN} > < SET 1 SEAT_NAME {DOUG} > < REP 1 SEAT_NAME {DOUG} > NFCカード（カード名 = BILL）が挿入されている場合： < GET 1 SEAT_NAME > < REP 1 SEAT_NAME {BILL} > < SET 1 SEAT_NAME {DOUG} > < REP ERR > NFCカード（カード名 = LUKE）を挿入して取り出した場合： < GET 1 SEAT_NAME > < REP 1 SEAT_NAME {GARY} > * NFC CARD INSERTED * < REP 1 SEAT_NAME {LUKE} > * NFC CARD REMOVED * < REP 1 SEAT_NAME {GARY} >

RF_POWER

ノート	RF電源を取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP

インデックス	なし
値	OFF LOW MEDIUM HIGH MAXIMUM
例	< GET RF_POWER > < REP RF_POWER LOW > < SET RF_POWER HIGH > < REP RF_POWER HIGH >

DEVICE_ID

説明	デバイスIDを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	なし
値	形式：REPの31文字の固定文字列 A~Z、a~z、0~9、およびハイフン"-"の組み合わせによる1~31文字。 <i>注：デバイスIDはハイフン"-"で開始または終了することはできません。</i>
例	< GET DEVICE_ID > < REP DEVICE_ID {BILL} > < SET DEVICE_ID {DOUG} > < REP DEVICE_ID {DOUG} >

注：カッコ ({}) 内は合計31文字です。以下の例では、ドキュメントのスペースの都合上、すべての文字スペースが示されているわけではありません。

ALL

ノート	サポートされているすべてのコマンドを取得します
サポートされるコマンド	GETおよびREP
インデックス	なし
値	なし
例	< GET ALL >

サポートされているすべてのコマンドのREPで応答します

BATT_CHARGE

ノート	電池の充電ステータスを表示します
サポートされるコマンド	GETおよびREP
インデックス	シート番号 注: 4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。 インデックスが0のGETコマンドは、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。
値	形式：数字3文字 000~100：充電状態の割合
例	デバイスが使用可能な場合： < GET 5 BATT_CHARGE > < REP 5 BATT_CHARGE 85 > デバイスが登録されているが、使用できない場合： < GET 3 BATT_CHARGE > < REP 3 BATT_CHARGE UNKNOWN >

BATT_RUN_TIME

ノート	バッテリー寿命を監視します
サポートされるコマンド	GETおよびREP
インデックス	シート番号 注: 4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。 インデックスが0のGETコマンドは、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。
値	形式：数字5文字

	00000~65535：現在の出力レベルに応じて、会議ユニットがオフになるまでの時間（分）に対応します。
例	<p>デバイスが使用可能な場合：</p> <pre>< GET 1 BATT_RUN_TIME > < REP 1 BATT_RUN_TIME 00045 ></pre> <p>デバイスが登録されているが、使用できない場合：</p> <pre>< GET 5 BATT_RUN_TIME > < REP 5 BATT_RUN_TIME UNKNOWN</pre>

BATT_CYCLE

ノート	個々のバッテリーサイクルを監視します
サポートされるコマンド	GETおよびREP
インデックス	<p>シート番号</p> <p>注：</p> <p>4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。</p> <p>インデックスが0のGETコマンドは、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。</p>
値	<p>形式：数字4文字</p> <p>0000~9999</p>
例	<p>デバイスが使用可能な場合：</p> <pre>< GET 2 BATT_CYCLE > < REP 2 BATT_CYCLE 0006 ></pre> <p>デバイスが登録されているが、使用できない場合：</p> <pre>< GET 5 BATT_CYCLE > < REP 5 BATT_CYCLE UNKNOWN ></pre>

BATT_HEALTH

ノート	バッテリーヘルスの割合を監視します
サポートされるコマンド	GETおよびREP
インデックス	<p>シート番号</p> <p>注：</p>

	<p>4000の有効なシート番号がありますが、その一部だけがオンラインで登録されたデバイスを指す場合があります。オンラインデバイスを参照していないシート番号をインデックスに登録すると、応答がないか、「UNKNOWN」の値が返されます。</p> <p>インデックスが0のGETコマンドは、オンライン登録されたデバイスのすべてのシート番号を取得します。オンラインデバイスを参照していないシート番号に対しては、応答はありません。</p>
値	<p>形式：数字3文字</p> <p>000～100：ヘルスの状態の割合</p> <p>255：不明、または該当なし</p>
例	<p>デバイスが使用可能な場合：</p> <pre>< GET 4 BATT_HEALTH > < REP 4 BATT_HEALTH 098 ></pre> <p>デバイスが登録されているが、使用できない場合：</p> <pre>< GET 1 BATT_HEALTH > < REP 1 BATT_HEALTH UNKNOWN ></pre>

UNIT_AVAILABLE

Description	Indicates device is available
Supported Commands	GET and REP
Indexing	<p>Seat Number</p> <p>Note:</p> <p>There are 4000 valid seat numbers, but only some may refer to online registered devices. Indexing seat numbers not referring to online devices may result in no response or in a return value of "UNKNOWN."</p> <p>The GET command with an index of 0 will GET ALL seat numbers of registered devices.</p>
Values	<p>AVAILABLE</p> <p>OFFLINE</p> <p>NOT_REGISTERED</p>
Examples	<p>If device is available:</p> <pre>< GET 1 UNIT_AVAILABLE > < REP 1 UNIT_AVAILABLE AVAILABLE ></pre> <p>If device becomes registered and is available:</p> <pre>< REP 2 UNIT_AVAILABLE AVAILABLE ></pre> <p><i>Note: Text between asterisks, "*" *, " explains actions taken by the system. Only text within angle brackets, "<>," is displayed.</i></p>

	<p>If registered device goes offline:</p> <pre>< REP 3 UNIT_AVAILABLE OFFLINE ></pre> <p>If device is not registered:</p> <pre>< GET 4 UNIT_AVAILABLE > < REP 4 UNIT_AVAILABLE NOT_REGISTERED ></pre> <p>If registered device becomes deregistered:</p> <pre>< GET 5 UNIT_AVAILABLE > < REP 5 UNIT_AVAILABLE AVAILABLE ></pre> <p>*The unit associated with seat 5 is deregistered from the access point.* *No REP will be returned to indicate a previously registered OFFLINE/ONLINE device has become deregistered.*</p> <p>NOT_REGISTERED will not be returned unless command targets an unregistered seat number:</p> <pre>< GET 0 UNIT_AVAILABLE > < REP 1 UNIT_AVAILABLE AVAILABLE > < REP 2 UNIT_AVAILABLE AVAILABLE > < REP 3 UNIT_AVAILABLE OFFLINE ></pre>
--	--

AUDIO_METER_RATE

ノート	オーディオ計測レートを設定および表示します	
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP	
インデックス	なし	
値	<p>ここで、レートは0=オフ、100~99999=レポートされた計測サンプル間の間隔（ミリ秒）です。</p> <p>オーディオサンプリングメッセージは、AUDIO_METER_RATEメッセージで指定されたレートで定期的に送信されます。</p>	
例	<p>オーディオ計測：</p> <pre>< SET AUDIO_METER_RATE 1000 > < REP AUDIO_METER_RATE 1000 > < GET AUDIO_METER_RATE > < REP AUDIO_METER_RATE 1000 > < AUDIO_SAMPLE auxInPeak auxInRms slot1Peak slot1Rms slot2Peak slot2Rms ... slotXPeak slotXRms ></pre>	<p>ここで、auxInPeakはAux入力のピークオーディオレベルです。</p> <p>ここで、auxInRmsはAux入力のRMSオーディオレベルです。</p> <p>ここで、slot[N]Peakはアップリンクスロット[n]のピークオーディオレベルです。</p>

		<p>ここで、slot[N]Rms は、アップリンクスロット[n]のRMSオーディオレベルです。</p> <p>オーディオRMSレベルは3桁の値 (-98 dB ~ 0 dBの値、98で相殺) です (すなわち、000 ~ 098)。 $actualAudioRMS = aud - 98$</p>
--	--	--

RF_METER_RATE

ノート	RF計測レートを設定および表示します	
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP	
インデックス	なし	
値	<p>ここで、レートは0=オフ、100 ~ 99999=レポートされた計測サンプル間の間隔 (ミリ秒) です。</p> <p>RFサンプリングメッセージは、RF_METER_RATEメッセージで指定されたレートで定期的送信されます。</p>	
例	<p>RF計測：</p> <pre>< SET RF_METER_RATE 1000 > < REP RF_METER_RATE 1000 > < GET RF_METER_RATE > < REP RF_METER_RATE 1000 > < REP seatNum1 RSSI value1 > < REP seatNum2 RSSI value2 > ... < REP seatNumX RSSI valueX ></pre>	<p>ここで、seatNum [N] は、レポートされているシート番号です。</p> <p>ここで、value[N] は、会議ユニットでの平均推定受信信号電力 (dBm) です。</p>

AUX_INPUT_MUTE

ノート	Aux入力のミュートを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	<p>Aux入力</p> <p>注：インデックス値が0または1のGETおよびSETコマンドを使用すると、Aux入力が取得および設定されます。</p>
値	<p>OFF</p> <p>ON</p>

例	<pre>< GET 1 AUX_INPUT_MUTE > < REP 1 AUX_INPUT_MUTE ON > < SET AUX_INPUT_MUTE OFF > < REP AUX_INPUT_MUTE OFF ></pre>
----------	--

AUX_OUTPUT_MUTE

ノート	Aux出力のミュートを取得および設定します
サポートされるコマンド	GET、SET、およびREP
インデックス	Aux出力 <i>注：インデックス値が0または1のGETおよびSETコマンドを使用すると、Aux出力が取得および設定されます。</i>
値	OFF ON
例	<pre>< GET 1 AUX_OUTPUT_MUTE > < REP 1 AUX_OUTPUT_MUTE ON > < SET 1 AUX_OUTPUT_MUTE OFF > < REP 1 AUX_OUTPUT_MUTE OFF ></pre>

MODEL

Description	Retrieve model number
Supported Commands	GET
Indexing	None
Values	Format: Fixed string of 32 characters for REP Characters from the set: A-Z and 0-9
Examples	<pre>< GET MODEL > < REP MODEL {CD2BEEEE13911DF81930015C5F3F612 ></pre>

START_VOTE

Description	Start a new voting session
Supported Commands	SET

Indexing	None
Values	Format: Numeric 1 to 2 characters of fixed input between 1 and 50 representing the voting configuration
Examples	<pre>< SET START_VOTE 3 > < REP VOTING_CONFIGURATION 03 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE > < REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <p>If the voting configuration does not exist:</p> <pre>< SET START_VOTE 10 > < REP ERR ></pre>

COMPLETE_VOTE

Description	Complete voting session
Supported Commands	SET
Indexing	None
Values	TRUE
Examples	<pre>< SET START_VOTE 3 > < REP VOTING_CONFIGURATION 03 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE > < REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <p>If voting state is inactive or complete:</p> <pre>< SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP ERR ></pre>

PAUSE_VOTE

Description	Pause voting session
Supported Commands	SET
Indexing	None
Values	TRUE
Examples	<pre> < SET START_VOTE 5 > < REP VOTING_CONFIGURATION 05 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 5 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < SET PAUSE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE PAUSE > < SET RESUME_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 2 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE > < REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE > If voting state is already paused, not active, or complete: < SET PAUSE_VOTE TRUE > < REP ERR > </pre>

RESUME_VOTE

Description	Resume a paused voting session
Supported Commands	SET
Indexing	None
Values	TRUE
Examples	<pre> < SET START_VOTE 5 > < REP VOTING_CONFIGURATION 05 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > </pre>

```

< REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >
< REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >
< REP 5 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >
< REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >
< SET PAUSE_VOTE TRUE >
< REP VOTING_STATE PAUSE >
< SET RESUME_VOTE TRUE >
< REP VOTING_STATE ACTIVE >
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 2 >
< REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >
< SET COMPLETE_VOTE TRUE >
< REP VOTING_STATE COMPLETE >
< REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE >

```

If voting state is active, inactive, or complete:

```

< SET RESUME_VOTE TRUE >
< REP ERR >

```

CANCEL_VOTE

Description	Cancel voting session
Supported Commands	SET
Indexing	None
Values	TRUE
Examples	<pre> < SET START_VOTE 5 > < REP VOTING_CONFIGURATION 05 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 5 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < SET CANCEL_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE INACTIVE > </pre> <p>If voting state is inactive or complete:</p> <pre> < SET CANCEL_VOTE TRUE > < REP ERR > </pre>

VOTING_CONFIGURATION

Description	Retrieve current voting configuration
Supported Commands	GET and REP
Indexing	None
Values	Format: Numeric 2 characters of fixed output between 01 and 50
Examples	< GET VOTING_CONFIGURATION > < REP VOTING_CONFIGURATION 01 >

VOTING_CONFIGURATION_NAME

Description	Retrieve names of voting configurations
Supported Commands	GET and REP
Indexing	Voting Configuration
Values	UTF8 characters are allowed except those used to encapsulate TPCI: {,},<,> e.g. {1234567890123456789012345678901} Fixed character size: 31
Examples	Get all voting configurations if in Standalone: < GET 0 VOTING_CONFIGURATION_NAME > < REP 1 VOTING_CONFIGURATION_NAME {2 Button Voting} > < REP 2 VOTING_CONFIGURATION_NAME {2 Button Voting Secret} > < REP 3 VOTING_CONFIGURATION_NAME {3 Button Voting} > < REP 4 VOTING_CONFIGURATION_NAME {3 Button Voting Secret} > < REP 5 VOTING_CONFIGURATION_NAME {5 Button Voting} > < REP 6 VOTING_CONFIGURATION_NAME {5 Button Voting Secret} > Get voting configuration 1 if in Standalone: < GET 1 VOTING_CONFIGURATION_NAME > < REP 1 VOTING_CONFIGURATION_NAME {2 Button Voting} >

Note: 31 characters total occur in the brackets, "{}." Not all character spaces are shown in these examples due to size limitations of the document.

VOTING_BUTTON_NAME

Description	Retrieve labels of voting buttons
Supported Commands	GET and REP

Indexing	Voting Button
Values	<p>Voting button name</p> <p>UTF8 characters are allowed except those used to encapsulate TPCI: {,},<,></p> <p>e.g. {1234567890123456789012345678901}</p> <p>Fixed character size: 31</p>
Examples	<p>Get all voting button labels for 2-button voting:</p> <pre>< GET 1 0 VOTING_BUTTON_NAME > < REP 1 1 VOTING_BUTTON_NAME {Yes} > < REP 1 2 VOTING_BUTTON_NAME {No} ></pre> <p>Get all voting button labels for 3-button voting:</p> <pre>< GET 3 0 VOTING_BUTTON_NAME > < REP 3 1 VOTING_BUTTON_NAME {Yes} > < REP 3 2 VOTING_BUTTON_NAME {Abstain} > < REP 3 3 VOTING_BUTTON_NAME {No} ></pre> <p>Get all voting button labels for 5-button voting:</p> <pre>< GET 5 0 VOTING_BUTTON_NAME > < REP 5 1 VOTING_BUTTON_NAME {++} > < REP 5 2 VOTING_BUTTON_NAME {+} > < REP 5 3 VOTING_BUTTON_NAME {0} > < REP 5 4 VOTING_BUTTON_NAME {-} > < REP 5 5 VOTING_BUTTON_NAME {--} ></pre>

Note: 31 characters total occur in the brackets, "{}." Not all character spaces are shown in these examples due to size limitations of the document.

VOTING_STATE

Description	Indicates state of the current voting session
Supported Commands	GET and REP
Indexing	None
Values	<p>INACTIVE</p> <p>PAUSE</p> <p>ACTIVE</p> <p>COMPLETE</p>
Examples	Voting session is off:


```
< GET VOTING_STATE >  
< REP VOTING_STATE INACTIVE >  
  
Voting session started and stopped:  
  
< SET START_VOTE 3 >  
< REP VOTING_CONFIGURATION 03 >  
< REP VOTING_STATE ACTIVE >  
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >  
< REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >  
< SET COMPLETE_VOTE TRUE >  
< REP VOTING_STATE COMPLETE >  
< REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE >
```

Voting session started and cancelled:

```
< SET START_VOTE 5 >  
< REP VOTING_CONFIGURATION 05 >  
< REP VOTING_STATE ACTIVE >  
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 5 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >  
< REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >  
< SET CANCEL_VOTE TRUE >  
< REP VOTING_STATE INACTIVE >
```

Voting session started and paused:

```
< SET START_VOTE 5 >  
< REP VOTING_CONFIGURATION 05 >  
< REP VOTING_STATE ACTIVE >  
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 5 INTERIM_VOTING_RESULT 0 >  
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >  
< REP 4 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >  
< SET PAUSE_VOTE TRUE >  
< REP VOTING_STATE PAUSE >  
< SET RESUME_VOTE PAUSE >  
< REP VOTING_STATE ACTIVE >  
< REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 2 >  
< REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 1 >  
< SET COMPLETE_VOTE TRUE >  
< REP VOTING_STATE COMPLETE >  
< REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE >
```

INTERIM_VOTING_RESULT

Description	Shows voting results as they come in from a non-secret voting session
Supported Commands	REP
Indexing	Voting Button
Values	Interim result = number of results on the specified column
Examples	<p>Non-secret voting session:</p> <pre>< SET START_VOTE 3 > < REP VOTING_CONFIGURATION 03 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < REP 3 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE > < REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <p>Secret voting session:</p> <pre>< SET START_VOTE 4 > < REP VOTING_CONFIGURATION 04 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE ></pre>

FINAL_VOTING_RESULT

説明	投票結果の取得
サポートされるコマンド	GETおよびREP
インデックス	投票ボタン
値	最終投票結果=指定した列の結果の数
例	<p>3ボタン投票後に最後の投票セッションの結果を取得：</p> <pre>< GET 0 FINAL_VOTING_RESULT > < REP 1 FINAL_VOTING_RESULT 5 > < REP 2 FINAL_VOTING_RESULT 1 > < REP 3 FINAL_VOTING_RESULT 2 ></pre> <p>投票キャンセル後に最後の投票セッションの結果を取得：</p>

```
< GET 0 FINAL_VOTING_RESULT >
< REP ERR >
```

SHARE_VOTING_RESULTS

ノート	すべての出席者で共有される投票結果を表示。秘密投票セッションを指定する必要あり。
サポートされるコマンド	SETおよびREP
インデックス	なし
値	TRUE
例	<p>秘密でない投票結果の共有：</p> <pre>< SET START_VOTE 1 > < REP VOTING_CONFIGURATION 01 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE ></pre> <p>* 秘密でない投票結果は自動的に共有されます *</p> <pre>< REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <p>秘密投票結果の共有：</p> <pre>< SET START_VOTE 2 > < REP VOTING_CONFIGURATION 02 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE > < SET SHARE_VOTING_RESULTS TRUE > < REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre>

注：アスタリスク (**) の間のテキストは、システムによって実行されるアクションの説明です。山型かっこ (<>) 内のテキストのみが表示されます。

CLOSE_VOTING_RESULTS

ノート	
サポートされるコマンド	SETおよびREP
インデックス	なし
値	TRUE

	FALSE
<p>例</p> <p>注：アスタリスク (**) の間のテキストは、システムによって実行されるアクションの説明です。山型かっこ (<>) 内のテキストのみが表示されます。</p>	<p>秘密でない投票結果の共有と終了：</p> <pre>< SET START_VOTE 1 > < REP VOTING_CONFIGURATION 01 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 0 > < REP 1 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < REP 2 INTERIM_VOTING_RESULT 1 > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE > < REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <p>*投票結果画面を閉じてホーム画面に戻るには、CLOSE_VOTING_RESULTSをTRUEにSETします*</p> <pre>< SET CLOSE_VOTING_RESULTS TRUE > < REP CLOSE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <p>秘密投票結果の共有と終了：</p> <pre>< SET START_VOTE 2 > < REP VOTING_CONFIGURATION 02 > < REP VOTING_STATE ACTIVE > < SET COMPLETE_VOTE TRUE > < REP VOTING_STATE COMPLETE > < SET SHARE_VOTING_RESULTS TRUE > < REP SHARE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <p>*投票結果画面を閉じてホーム画面に戻るには、CLOSE_VOTING_RESULTSをTRUEにSETします*</p> <pre>< SET CLOSE_VOTING_RESULTS TRUE > < REP CLOSE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <pre>< SET CLOSE_VOTING_RESULTS TRUE ></pre> <p>*同じ投票セッションで結果がすでに1度閉じられている場合は、応答はありません。*</p>